

全体研修1 会場校 城香中学校の取組み

・城香中学校 吉田 憲太朗先生

城香中学校には福岡市の中学校で最大のワールドルームがあります。熊本校長先生が日々子どもたちに伝えられている「みんなちがって みんないい 人と比べない 違いを認める 受け入れる そして支え合う」この言葉のもと生徒達は毎日の学習や体育大会を始めとする行事に協力しお互いを高めあいながら取り組んでいます。



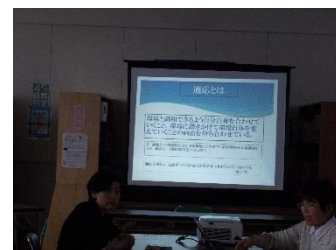
○外国につながる生徒が積極的に学校生活を送っている様子がわかった。相互理解や共生という言葉が体現していると感じた。

○相手を思いやる気持ちがあふれており、とても愛にあふれていると感じた。

全体研修2 適応指導について

・内浜小学校 池田芳江先生 村山あすか先生

児童だけではなく保護者の適応支援も大事にすることの大切さを知りました。さまざまなサポートとは別に一人であるときにどのように学習したら良いかを教えるなど子どもが自立できるようなアドバイスをされていたので大変参考になりました。JSLの児童生徒にとって日本独特の連帯責任や気合い入れの意味など理解が難しいことがたくさんありますが、皆のため、ルールを守るため、成功のためなど意味を教えると入っていきやすいのだそうです。担任の先生と保護者そして子どものパイプ役になることが大事ということがわかりました。



○児童生徒のバックグラウンドを知りながら保護者や当事者に対応していかなければならないと思いました

○子どもと保護者に学校のルールを説明する「つなぐ」役目として大切だと感じました。

○小中学生の適応指導で気をつけることが大きく違うことがわかりました。

全体研修3 評価について

・筑紫丘小学校 原田徳子先生 城浜小学校 岡田美貴先生

学期ごとに出す日本語の通信票についての説明がありました。昨年度までは在籍校のものとして別にA3サイズの通信表を出していましたが、今年度からは在籍校のファイルにはさむことができるようなコンパクトな形になりました。進度に応じて行うステップアップテストの活用について分析の仕方、担任の先生や指導員さんへの報告活用まで詳しく説明がありました。テストを行うだけで終わらせるのではなく、結果を児童生徒のために上手く活用できるよう意識していきたいと改めて感じました。



○初期指導用の通知表がA4版になってとてもシンプルで良いと思いました。

○ひろこさんのたのしいにほんごの通知表はできることとまだできないことがわかりやすいのでとても良いと思いました。

○できたことを積み重ねると児童生徒が意欲的になるということがよくわかりました。